

一年前から、右の上の歯茎からはおが痛みだし、近所の歯科医院を受診したところ、歯髄炎といわれ、しばらく治療を受けました。その後も痛みが治まらないので、ほかの歯科医院に行くところ三叉神経痛ではないかと言われました。今は冷たい飲み物を口に入れたときや、固い食べ物の上あごに当たったときに、キリキリッと飛び上がるような痛みが走ります。できるだけ柔らかいものを口の左側で食べるようにしています。脳外科を紹介しようと言われましたが、

グレートールは神経の興奮を抑える薬で、三叉神経には最も効果的です。

問い 薬の副作用は。

答え テグレートールの服用を始めた段階では眠気、フラフラ感などの自覚症状があり

三叉神経痛

脳の病気でも起る

す。この弱い部分に、たまたま脳の動脈が当たると神経がショートしたようになり、ひどい痛みが起ります。これが三叉神経痛です。

問い 脳外科を紹介されているようですが。

答え 三叉神経痛は神経に対する血管の圧迫だけでなく、脳腫瘍、脳梗塞、多発性硬化症という脳の病気でも起りますので、まずは脳外科か神経内科で原因をつきとめる必要があります。

ますが、薬を少量ずつ増やしていったり、就寝前に服用することで、副作用を最小限におさえることができます。肝機能が悪くなったり、じんましんが出たりするような副作用に中止しなければなりません。



鹿児島大学病院
脳神経外科

有田 和徳教授



問い 三叉神経痛とはどんな病気でしょうか。

答え 三叉神経は顔や口の中の感覚を脳に伝える神経です。左右にそれぞれ一本ずつありますが、ひたいの神経、上あごの神経、下あごの神経の三本に分かれているため三叉神経と呼ばれます。三叉神経が脳に入る部分は神経を保護する膜が薄くなっています。

問い この患者さんは最初、歯科にかかっています。

答え 最初に歯ぐきの痛みから始まることも多いため、虫歯や歯槽膿漏と思いき、歯科や口腔外科を受診され、そこで三叉神経痛を見つけて

問い どんな検査をうけるのでしょうか。

答え 最近の高性能の磁気共鳴画像装置(MRI)であれば、特に苦痛なく、約30分ぐらいの検査で原因となっている病気を見つけることができます。

問い 治療について教えてください。

答え 脳腫瘍などの病気がみつかれれば脳外科の治療が必要になります。原因がはっきりしない場合はテグレートールという薬が用いられます。テ

グレートールは神経の興奮を抑える薬で、三叉神経には最も効果的です。

問い 薬の副作用は。

答え テグレートールの服用を始めた段階では眠気、フラフラ感などの自覚症状があり



グレートールは神経の興奮を抑える薬で、三叉神経には最も効果的です。

問い 薬の副作用は。

答え テグレートールの服用を始めた段階では眠気、フラフラ感などの自覚症状があり

グレートールは神経の興奮を抑える薬で、三叉神経には最も効果的です。

問い 薬の副作用は。

答え テグレートールの服用を始めた段階では眠気、フラフラ感などの自覚症状があり